※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	(学)ベーシック体育	単位数	２単位	年次	１～４年次
使用教科書	新高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生涯スポーツの理念に基づき、色々な運動種目を通して生涯にわたりスポーツを楽しめるようにしよう。
・ニュースポーツなど様々なスポーツ種目に取り組み、老若男女問わず楽しむための工夫や共に取り組む際に必要なコミュニケーションを学ぼう。
・体を動かすことの楽しさ、大切さを理解し、怪我の予防、健康で強健な身体を育てよう。

２　学習の到達目標

（１）ニュースポーツなど様々なスポーツ種目に取り組み、各種目も起源やルール、特有の技能について学ぶ。
（２）体を動かすことの楽しさ、大切さを理解し、怪我の予防、健康で強健な身体を育て上げる。
（３）スポーツを通して、仲間と協力、競争しあうことの楽しさ大切さを学ぶ。また、老若男女問わず楽しめることを実感し、生涯に渡ってスポーツに取り組む意欲を持つことができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基本的な運動の技術や安定した用具の操作ができる。 ・ニュースポーツを中心としたスポーツの発祥や特徴を理解する。 ・ルールを理解し、自分たちでゲームを行うことができる。	・ルールを理解し、仲間と競い合うことやチームで戦略を考え実行することができる。 ・自己や仲間の課題に応じた運動の行い方や運動の計画を工夫することができる。	・積極的に取り組み、フェアプレイを大切にすることができる。 ・仲間とコミュニケーションを取り活動することができる。 ・生涯にわたって運動を継続することができるよう、種目特性を理解し、スポーツライフを設計することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	球技（ネット型）	・オリエンテーション 授業に関しての取り組み、目標を説明し理解させる。 ・バドミントン 基本的な技能を高め、ルールを理解し、実施する。	a:ルールや用具の使い方を理解し、基本的な運動技能を高めることができる。 b:種目特性を理解し、知識・技能を自己の課題に応用することができる。 c:自己の役割を果たし、仲間と競い高めあうことができる。	受講態度の観察 スキルテスト 試合結果の分析	受講態度の観察 試合結果の分析	受講態度の観察 生徒間での実技方法の観察
		・ショートテニス 基本的な技能を高め、ルールを理解し、実施する。 ・硬式テニス 基本的な技能を高め、ルールを理解し、実施する。 ショートテニスから段階を踏んで実施する。	a:ルールや用具の使い方を理解し、基本的な運動技能を高めることができる。 b:種目特性を理解し、知識・技能を自己の課題に応用することができる。 c:自己の役割を果たし、仲間と競い高めあうことができる。	受講態度の観察 スキルテスト 試合結果の分析	受講態度の観察 試合結果の分析	受講態度の観察 生徒間での実技方法の観察
後期	ネット型	・ソフトバレーボール 基本的な技能を高め、ルールを理解し、実施する。	a:ルールや用具の使い方を理解し、基本的な運動技能を高めることができる。 b:種目特性を理解し、知識・技能を自己の課題に応用することができる。 c:自己の役割を果たし、仲間と競い高めあうことができる。	受講態度の観察 スキルテスト 試合結果の分析	受講態度の観察 試合結果の分析	受講態度の観察 生徒間での実技方法の観察

※令和４年度以降入学生用

	ニュースポーツ	・フリスビー 基本的な技能を高め、ルールを理解し、実施する ・ペタンク 基本的な技能を高め、ルールを理解し、実施する	a:ルールや用具の使い方を理解し、基本的な運動技能を高めることができる。 b:種目特性を理解し、知識・技能を自己の課題に応用することができる。 c:自己の役割を果たし、仲間と競い高めあうことができる。	受講態度の観察 スキルテスト 試合結果の分析	受講態度の観察 試合結果の分析	受講態度の観察 生徒間での実技方法の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度